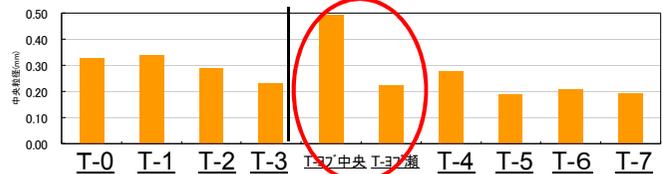
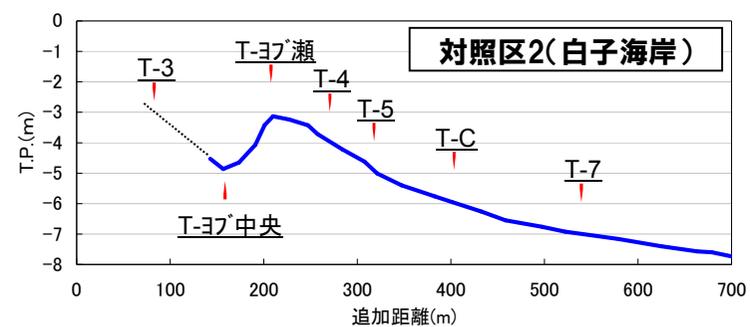
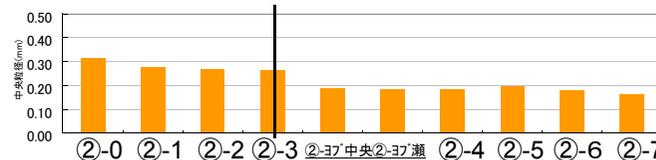
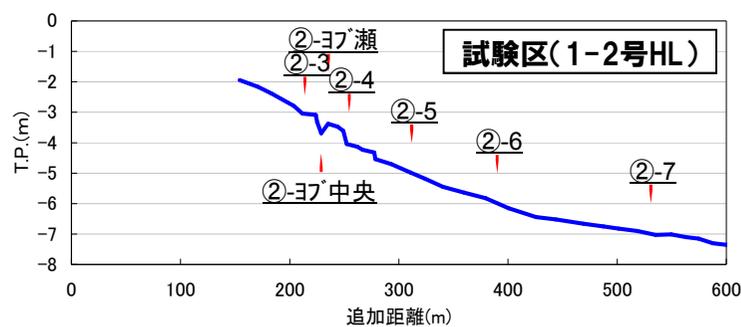
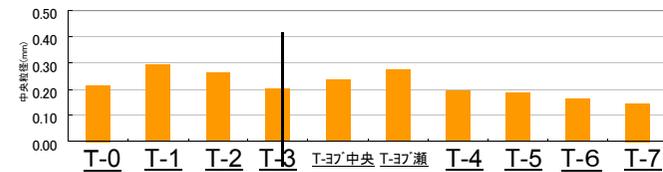
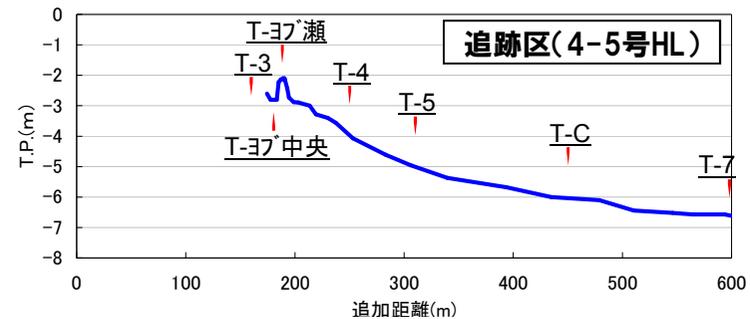
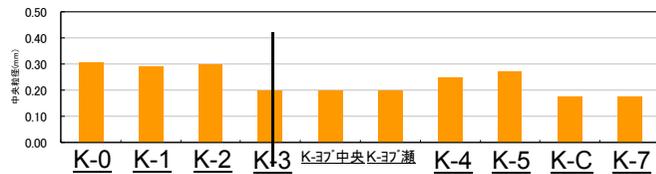
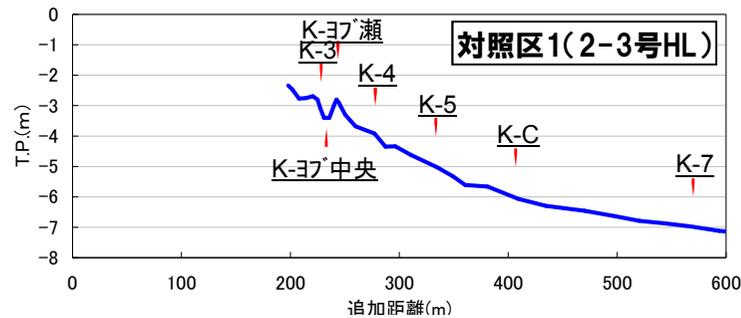


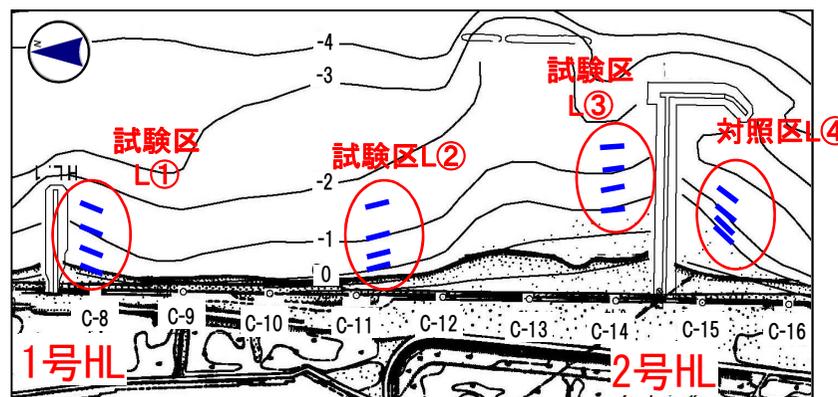
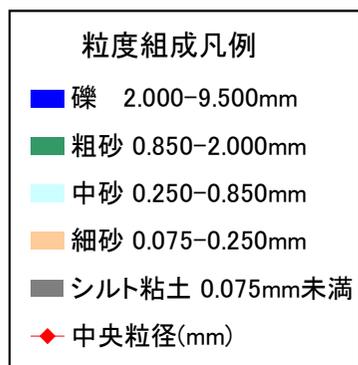
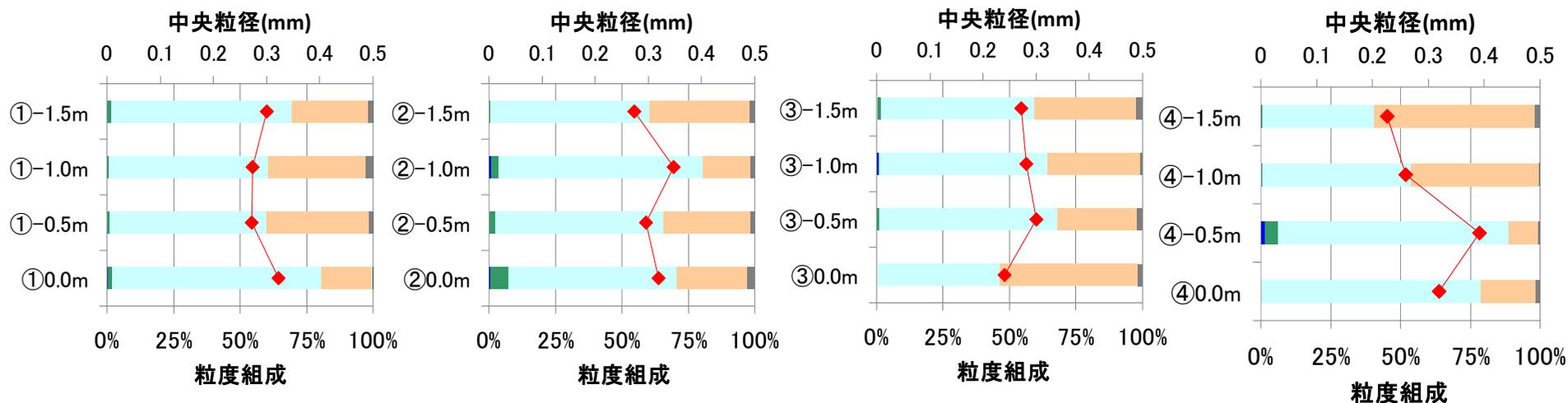
## 2.5 調査結果 (4) 地形と中央粒径

- ・地形については、対照区である白子海岸では、発達したSandbar、ヨブが見られたが、その他の、1-2、2-3、4-5号ヘッドランド間については、**顕著なSandbar、ヨブは見られなかった。**
- ・底質については、対照区のヨブ中央で中央粒径値が高くなっている。その他、ヨブ瀬とヨブ中央を比較するとヨブ中央の方が小さいか、または同程度となっている。



## 2.5 調査結果 (5) 粒度組成

- ・T. P. 0m～-1.5mの粒度組成は、全測線で、ほぼ細砂（0.075～0.25）から中砂（0.25～0.85mm）が占める。
- ・1-2号ヘッドランド間の各測線と2号堤基部の水深-0.5mでは、若干粗砂（0.85～2.00mm）、礫分（2.00mm～）が確認された。



# まとめ

---

- チョウセンハマグリ、ダンベイキサゴの汀線部稚幼貝調査では、試験区である1-2号ヘッドランド間では、ほとんど見られない。
- 一方で、対照区である、2号ヘッドランド南側で多く観測された。
- 沖合の成貝調査においても、1-2号ヘッドランド間は生息密度が低かった。

# 粗粒材養浜予備試験施工 施工状況

### 3.1 予備試験施工の概要

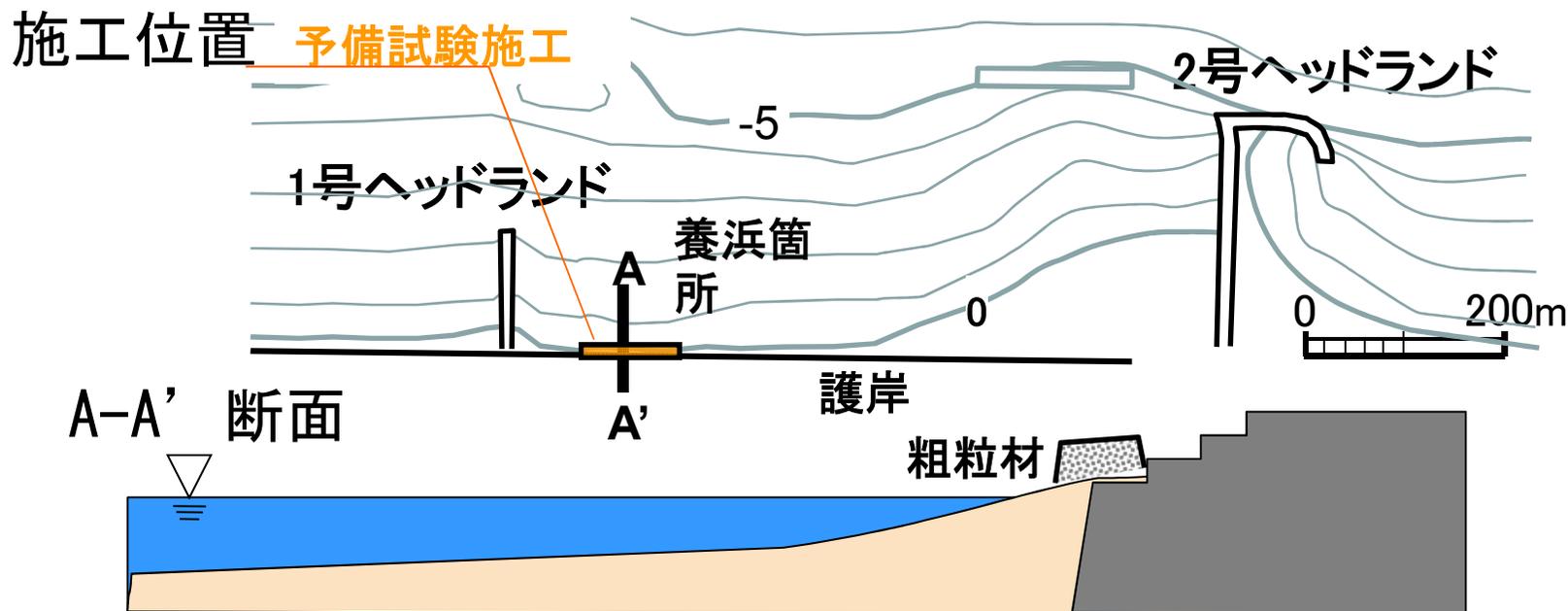
[目的] 粗粒材養浜の移動状況・生物への影響を確認する

[場所] 1-2号ヘッドランド間

[投入時期] 粗粒材運搬:2月26日～3月10日 9日間予定

海浜投入 :3月3日～ 400m<sup>3</sup>投入

[養浜材・量] 7号採石 2.5～5.0mm、500m<sup>3</sup>





## 3.2 投入時の状況



粗粒材の仮置き状況

## 3.2 投入時の状況

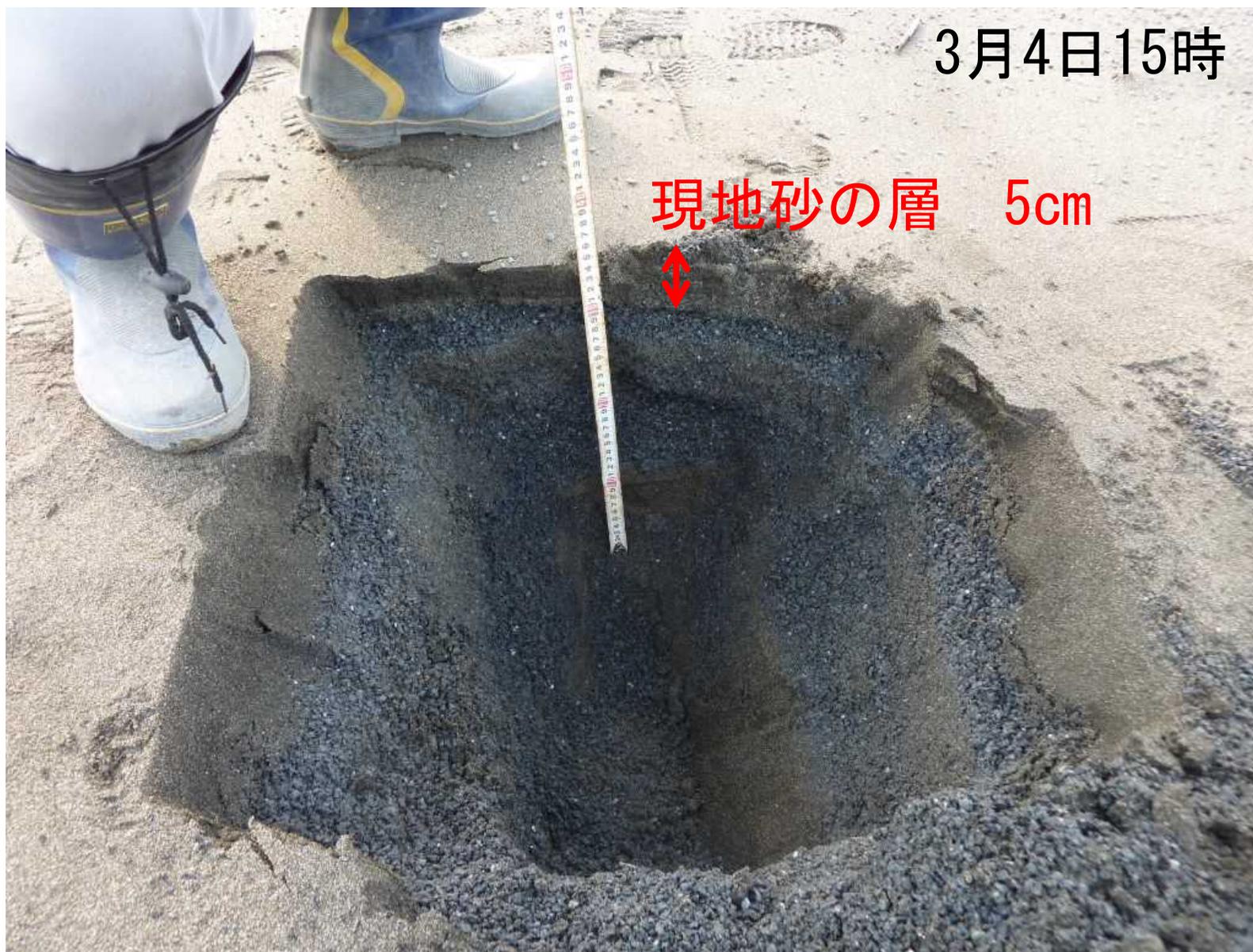


粗粒材の投入状況

## 3.2 投入時の状況



## 3.2 投入時の状況



## 3.2 投入時の状況

定点写真から見る投入移動状況



# 粗粒材養浜予備試験施工 事後のモニタリングについて

# 4.1 粗粒材養浜試験 -今後の流れ-

